

# 図書館だより

第23号

八千代市立大和田図書館 482-3240

八千代台図書館 482-0912

勝田台図書館 484-4946

緑が丘図書館 489-4946

ホームページ <http://www.library.yachiyo.chiba.jp>

## 子供たちに、楽しい読書を！

今の子供たちは、テレビ、ビデオ、ゲーム、インターネット等の影響を強く受け、幼児期からの読書習慣が形成されず、そのまま、大人になるという、「読書離れ」が深刻な問題となっています。

読書は、子供が言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことができないものです。また、子どもの健やかな成長にとっても大変重要です。

市内の4つの図書館では、子供たちの読書活動を支える施設として、さまざまなサービスをしています。乳幼児から中学生までを対象とした図書、雑誌、紙芝居等を揃え、貸出しの他に図書の展示やおすすめ本のリストの作成・配布、はじめての絵本コーナー、やさしい物語のコーナーを設けるなど各年齢層を配慮したサービスを行っています。

また、勝田台図書館と緑が丘図書館ではヤング・アダルトコーナーを作り、若い世代に人気のある作品などを揃え、中・高校生にも本への興味を持ってもらう工夫をしています。

児童蔵書冊数は4館合わせて、約11万冊（H19.3月末現在）、児童書貸出冊数は約30万冊（平成18年度）です。各図書館には児童担当者がいて、子供の質問や調べ物、読書の相談にも応じています。

文庫、保育園、学校等へは大和田図書館が窓口となり団体貸出も行っています。

また、幼い時から絵本の楽しい経験を持つことの大切さを考慮し、「親子で楽しむ絵本の会」や「わらべうたの会」、幼児から小学生対象の「おはなし会」を開催し、夏休みには、通常できない楽しい行事も計画し、子供たちの参加をお待ちしています。



# 夏休みは、図書館で快適な時間を！

## ● 7・8月の児童対象の行事について

夏休みには、各館で、毎週水曜日のおはなし会の他に、手作り絵本講座、アニメーションの会、映画会、夏のおはなし会などを計画しています。7月15日号の「広報やちよ」にも掲載されます。子供たちに読書習慣を育む良い機会ですので、是非、ご参加ください。



### ① 絵本であそぼう！アニメーション・・・対象 小学1～2年生

アニメーションは、スペインの教育者、モンセラ・サルトさんが研究した指導法です。本を使った遊びの中で、子どもが潜在的に持っている「読む力」を引き出し、自分から進んで読書を楽しむことが出来るので、日本でも広まってきています。

\*日時 7月26日(木) 緑が丘図書館 (先着20人)

8月 1日(水) 勝田台図書館 (先着20人)、八千代台図書館 (先着15人)

8月 2日(木) 大和田図書館 (先着15人)

各館とも時間は午後3時から午後4時まで

### ② えほんをつくろう！・・・カンタンな手作り絵本講座・・・対象 小学生(3年生以上)

絵本作家、もろはらじろうさんによる絵本づくりのお話と指導。

オリジナル絵本を完成させて、夏休みの思い出にしましょう。



\*日時 7月24日(火) 緑が丘図書館 緑が丘プラザ4階講習室 (先着15人)

8月 7日(火) 勝田台図書館 おはなし室 (先着15人)

各館とも時間は午後1時から午後4時まで

※①②の募集は各館の窓口又は電話で7月15日(日)から受付。

### ③ 子ども映画会・・・対象 幼児から小学生

\*日時 7月25日(水) 午後3時から午後4時まで 勝田台図書館 (先着80人)

### ④ 夏のおはなし会・・・対象 4才から小学生

\*日時 7月25日(水) 午後3時から午後4時まで 八千代台図書館 (先着25人)

## ● 大人のための朗読を楽しむ会

長年、視覚障害者に文芸作品(現代小説、時代小説、エッセイ等)を対面朗読してきた朗読の会有志による出演です。耳から聴く文学の世界は至福の時間です。

・日時 7月28日(土) 午後1時30分から午後3時30分まで

・プログラム 「聞き屋与平」 宇江佐真理著 新潮社

「うらやましい人 ベストエッセイ集03年版」 文芸春秋

・会場 勝田台図書館2階おはなし室

・対象 中学生から大人 申し込みは必要ありません。

今後の予定：9月15日、11月24日、平成20年1月26日、3月22日



## 第6回 図書館教養講座

### 絵本作家カリジェの世界～ウルスリのすずとスイスの旅～

スイスのすぐれた絵本作家アロイス・カリジェ（1902－85）は山の自然の美しさや厳しさ、そこで暮らす子供たちの生活をいきいきと描き、国際アンデルセン賞を受賞しています。美しいスライドやお話を通して「自分の子供時代のかがやきをすべての子供たちに伝えたい」というカリジェの世界を紹介します。

- ・ 講師 池田正孝氏（中央大学名誉教授・東京子ども図書館理事）
- ・ 日時 平成19年7月14日（土）午後2時～4時（開場 午後1時30分）
- ・ 会場 緑が丘プラザ 5階 集会ホール  
（東葉高速八千代緑が丘駅徒歩3分）
- ・ 対象 中学生から市民一般
- ・ 定員 先着60名
- ・ 申込 電話（緑が丘図書館047-489-4946）  
又は各図書館窓口へ7月1日（日）9時より受付



- \* カリジェの作品：「ウルスリのすず」、「フルリーナと山の鳥」、「大雪」、  
「マウルスと三びきのヤギ」、「ナシの木とシラカバとメギの木」、  
「マウルスとマドライナ」

## “アストリッド・リンドグレン”をご存知ですか？

アストリッド・リンドグレンは、スウェーデンの、また世界の人気作家の一人でもあり、「長くつ下のピッピ」「名探偵カッレくん」「やかまし村の子どもたち」等の作品があります。2002年に94歳で他界しましたが、彼女の物語は永遠に生きています。

今年（2007年）はリンドグレン生誕100年にあたります。彼女の思い出に敬意を表し、世界の児童青少年文学を推進するためにスウェーデン政府は、彼女の名前で国際的な賞を創設しました。アストリッド・リンドグレン記念文学賞です。

この賞は500万スウェーデンクローナ（日本円で約1億円）という賞金額により、国



際的な児童青少年文学賞として世界最大で子どもの本のノーベル賞とも言われています。

賞は、リンドグレンの精神を継承し、芸術性の高い作品や業績のある作家、挿絵画家、ストーリーテラー、読書推進に貢献した人を対象に贈られます。評伝では「遊んで、遊んで、遊びました」等があります。

日本人では「なぞなぞのたび」「はっぴいさん」「へっこきあねさ」の絵本作家、荒井良二氏が2005年に日本人初の受賞者となりました。

## 爽やかな講演会でした！「第5回 図書館教養講座 夢の実現」

5月12日（土）、緑が丘プラザ5階集会ホールで4館共催の第5回図書館教養講座がありました。講師は「やった。4年3ヶ月の有給休暇で自転車世界一周をした男」「ほった。」の著者、坂本達さんです。



坂本さんは会社の理解を得て、有給休暇で世界自転車旅行に出かけますが、アフリカのギニアではマラリアと赤痢に罹り、命拾いをします。人と人との出会いの大切さを学び、帰国後、日本全国で講演活動を行い、アフリカの井戸の設置や病院や学校建設への恩返しの活動もしています。

当日は小学生から高齢者まで120人の参加者があり、講師の謙虚な人柄に引き込まれる会でした。

### \*坂本さんからのメッセージ！

- ・初めて人に出会ったとき、挨拶がとても大切。
- ・感謝の気持ちを持ち、人と人とのつながりを大事にしよう。
- ・“夢を持とう！” いつかかなうという夢を持ち続けよう。

## 休館のお知らせ



コンピュータ機器の更新と蔵書点検のため、市内4館は、**9月17日（月）から10月1日（月）まで**、休館します。この間、携帯電話からの検索や予約、ホームページのリニューアル等を行う予定で、準備を進めておりますので、ご協力の程、宜しくお願いいたします。  
10月2日（火）から開館いたします。

### ★★★あんな話題こんな話題★★★

#### “走れ 自転車図書館”

手製げたを履いた着流し姿で、大きな水車を引っ張った自転車図書館に乗った青年、徳島県鳴門市出身の土居一洋さん（28歳）が、5月25日、大和田図書館にもやってきました。有害物質に汚染された自然環境や人々の姿などを収めた写真集「百年の愚行」を広めよう（八千代市でも所蔵）と2005年1月から全国の図書館を巡っています。

今年4月末までに、13都道府県、約1200か所の図書館を訪れました。「30歳までに全国の図書館を制覇する。」とのこと。

#### 図書館だより 第23号

\*編集 八千代台図書館  
八千代市八千代台北6-7-6  
TEL047-482-0912  
\*発行日 平成19年6月